

ミュージカルを観劇して感激！

11月7日(火)、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズによるミュージカルがふるさとセンターで上演され、錦町の小中高生みんなで観劇しました。プロの劇はすべてにおいて洗練されており、その技量に圧倒されっぱなしの1時間半でした。小学生はミュージカルに出演させてもらって、一緒に踊ったり歌ったりしました。このように本物に触れることで感化され、「自分もやってみたい！」と思う子が現れるかもしれません。とても貴重な時間だったと思います。



私は、児童が会場入りする前から、会場の中にいました。その間、劇団員の方が何をしていたかという、念入りのウォームアップです。長時間かけて体の隅々までストレッチをし、発声練習や滑舌トレーニングを繰り返し行っていました。歌やダンスが上手だなあと観た人全員が感じたと思いますが、莫大な時間を費やした練習と十分な準備があってこそのことだと推察しました。努力の対価として成功があるのだと、改めて感じました。

★ルドルフといっぱいあってなの台詞より。

- 絶望は愚か者の決断。あきらめるな。
- 自分がやられて痛いことは、相手も同じように痛いということを覚えておけ。
- 言葉が下品になると、心も下品になる。
- 学習するってことは、良いことだ。



玖北地区音楽会、大成功！

11月8日（水）、ハーモニーみわで、玖北地区小学校音楽会が開催されました。本校はトップバッターで舞台に上がり、堂々と「未知という名の船に乗り」を合唱し、「カイト」を合奏しました。



これまでの練習の日々を知っているだけに、「大きな失敗をせずうまくいってくれ！」と祈る思いでしたが、心配は杞憂でした。合唱は元気な1～4年、美しい歌声の5・6年が互いを補い合いながらきれいなハーモニーができていました。合奏も各パートがしっかりと音を出しながらも主張しすぎることなく、よくまとまっていた。ステージ上の所作もよくそろっており、「これ、うちの児童だよ！」とみんなに言って回りたくらい誇らしい気分になりました。ステージを降りた児童たちは、「スポットライトが暑かった～」と晴れやかな笑顔を見せていました。保護者の皆様、お子様に「よくがんばったね」と、声をかけてあげてください。

今回発表した合唱や合奏は、11月19日（日）の錦ふるさと祭りでも披露する予定です〔10:10～〕。ぜひご観覧ください。